

平成28年度 第2回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には受注量、受注見通しにやや増加の傾向も見られるものの、「不変」が多く横ばいの状態が続いている。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的にやや増加。金属製品、電気機器、樹脂製品で大きく増加。
- (2)受注見通し : 全体的にやや増加。鉄鋼・非鉄、一般機器で大きく増加。
- (3)受注単価 : 僅かに上昇だが、ほぼ横ばい。精密機器で2割超の企業が低下。
- (4)資金繰り : 僅かに好転だが、ほぼ横ばい。鉄鋼・非鉄、一般機器で悪化が増加。
- (5)採算状況 : やや改善傾向。5業種で赤字減少も鉄鋼・非鉄では悪化。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」が減少もほぼ変化なし。

(注) 本報告書で使用するDIとはデフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成28年7月～9月
(平成28年9月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

| | | | |
|-----------|-----|----------|-----|
| ① 鉄鋼・非鉄関係 | 35社 | ② 金属製品関係 | 45社 |
| ③ 一般機器関係 | 45社 | ④ 電気機器関係 | 45社 |
| ⑤ 輸送用機器関係 | 35社 | ⑥ 精密機器関係 | 40社 |
| ⑦ 樹脂製品関係 | 40社 | | |

(3) 調査時点

平成28年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

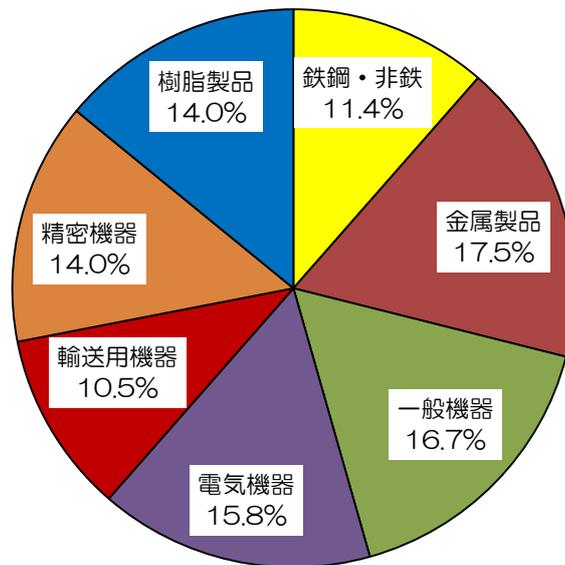
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

| | | | |
|-----------|-------|-----------|--|
| ① 調査対象企業数 | 285社 | | |
| ② 回答企業 | 228社 | | |
| ③ 内訳 | | | |
| 鉄鋼・非鉄関係 | 26社 | (11.4%) | |
| 金属製品関係 | 40社 | (17.5%) | |
| 一般機器関係 | 38社 | (16.7%) | |
| 電気機器関係 | 36社 | (15.8%) | |
| 輸送用機器関係 | 24社 | (10.5%) | |
| 精密機器関係 | 32社 | (14.0%) | |
| 樹脂製品関係 | 32社 | (14.0%) | |
| ④ 回答率 | 80.0% | | |

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 個人 | 5 2.2% | | | | 2 5.6% | | | 3 9.4% |
| ~300万円 | 13 5.7% | | 4 10.0% | | 1 2.8% | 2 8.3% | 3 9.4% | 3 9.4% |
| 301~999万円 | 11 4.8% | 1 3.8% | 2 5.0% | | | 3 12.5% | 2 6.3% | 3 9.4% |
| 1000~2000万円 | 134 58.8% | 14 53.8% | 28 70.0% | 24 63.2% | 24 66.7% | 8 33.3% | 19 59.4% | 17 53.1% |
| 2001~5000万円 | 49 21.5% | 8 30.8% | 6 15.0% | 12 31.6% | 8 22.2% | 5 20.8% | 5 15.6% | 5 15.6% |
| 5000万円超 | 16 7.0% | 3 11.5% | | 2 5.3% | 1 2.8% | 6 25.0% | 3 9.4% | 1 3.1% |
| 合 計 | 228 100% | 26 100% | 40 100% | 38 100% | 36 100% | 24 100% | 32 100% | 32 100% |

(3) 業種別・従業員別回答企業数

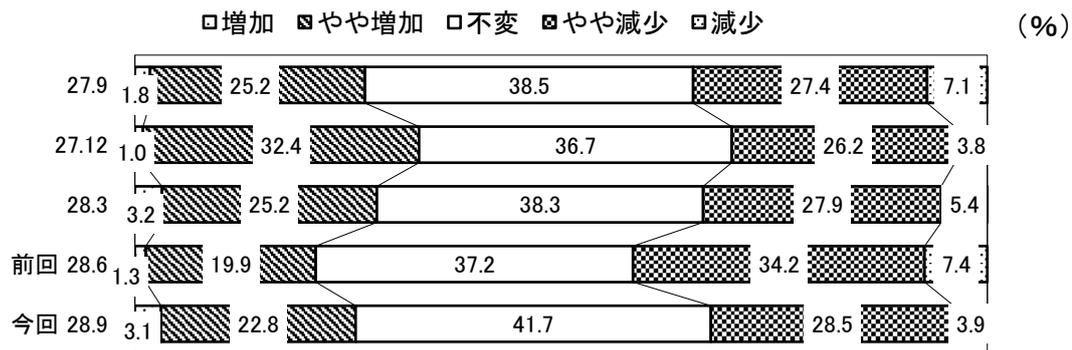
(単位：社)

| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|--------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1~5人 | 19 8.3% | 7 26.9% | | 2 5.3% | 2 5.6% | 4 16.7% | | 4 12.5% |
| 6~10人 | 25 11.0% | 4 15.4% | 2 5.0% | 2 5.3% | 5 13.9% | 3 12.5% | 6 18.8% | 3 9.4% |
| 11~20人 | 65 28.5% | 6 23.1% | 17 42.5% | 14 36.8% | 4 11.1% | 3 12.5% | 10 31.3% | 11 34.4% |
| 21~30人 | 31 13.6% | 3 11.5% | 11 27.5% | 5 13.2% | 4 11.1% | 1 4.2% | 3 9.4% | 4 12.5% |
| 31~50人 | 38 16.7% | 3 11.5% | 5 12.5% | 7 18.4% | 9 25.0% | 6 25.0% | 5 15.6% | 3 9.4% |
| 51人以上 | 50 21.9% | 3 11.5% | 5 12.5% | 8 21.1% | 12 33.3% | 7 29.2% | 8 25.0% | 7 21.9% |
| 合 計 | 228 100% | 26 100% | 40 100% | 38 100% | 36 100% | 24 100% | 32 100% | 32 100% |

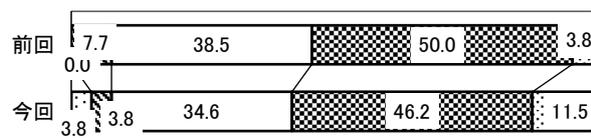
3. 調査結果

(1) 受注量について

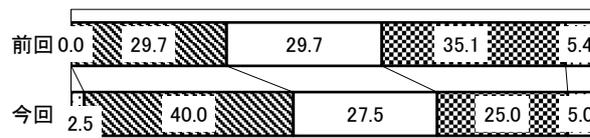
①全体



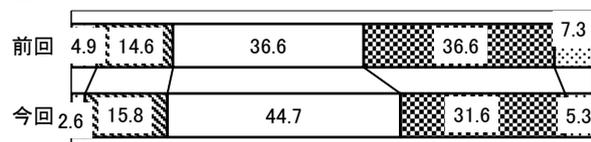
②鉄鋼・非鉄



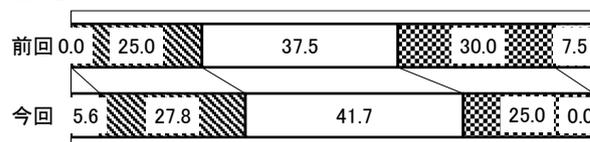
③金属製品



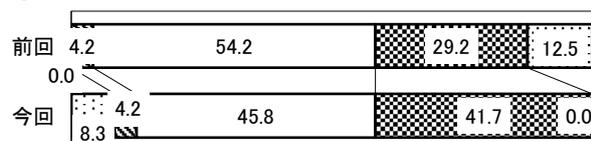
④一般機器



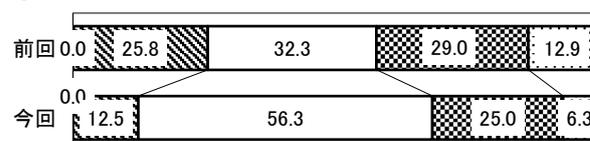
⑤電気機器



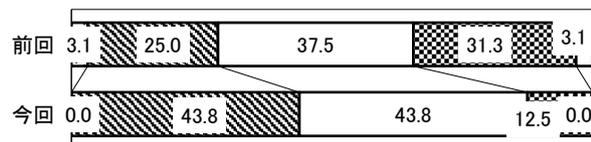
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.5となり、前期（4月～6月期）のD I ▲20.4と比べ13.9ポイント上昇し、受注量は増加傾向である。

○業種別

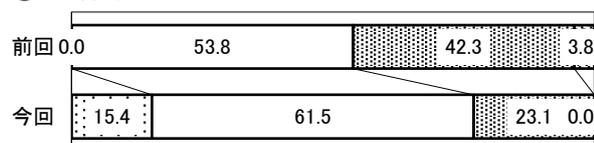
- ・業種7分類中、D I値は、金属製品、電気機器、樹脂製品でプラスとなっている。
- ・一方で、鉄鋼・非鉄で▲50.1、輸送用機器で▲29.2と大きくマイナスとなっている。
- ・D I値を前期と比較すると、金属製品が前期▲10.8から12.5となり23.3ポイント上昇、電気機器で▲12.5から8.4と20.9ポイント上昇、樹脂製品で▲6.3から31.3と37.6ポイントの上昇が見られる。
- ・鉄鋼・非鉄では「減った」とする回答が57.7%と前期比3.9ポイント増、輸送用機器でも「減った」の回答が前期同様41.7%と厳しい結果となっている。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

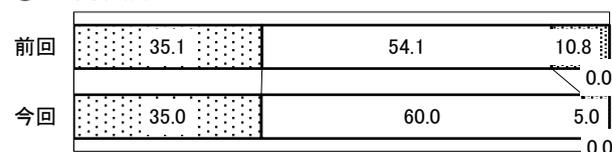
①全体



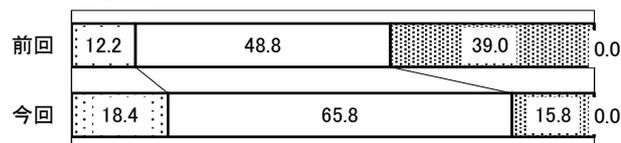
②鉄鋼・非鉄



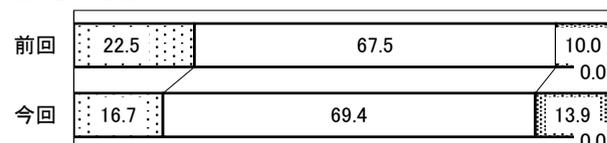
③金属製品



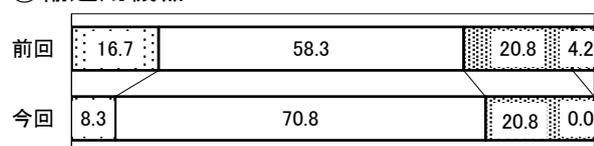
④一般機器



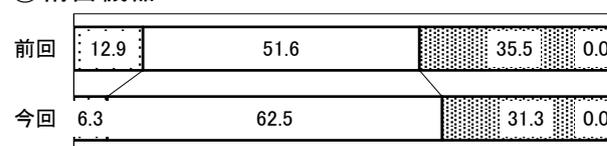
⑤電気機器



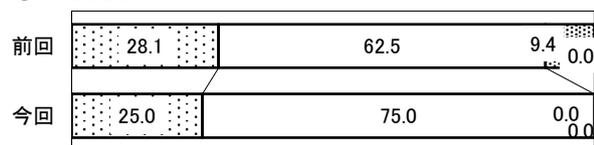
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期(10月～12月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は4.0となり、前期調査時のD I ▲4.4と比べ8.4ポイント上昇し、受注量の見通しは増加とする回答の割合が増えている。

○業種別

・業種7分類中D Iがプラスであったのは金属製品(30.0)、一般機器(2.6)、電気機器(2.8)、樹脂製品(25.0)の4業種で、鉄鋼・非鉄(▲7.7)、輸送用機器(▲12.5)、精密機器(▲25.0)の3業種はマイナスであった。

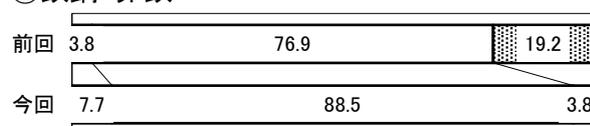
・D Iを前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(34.6)、金属製品(5.7)、一般機器(29.4)、樹脂製品(6.3)で上昇しており、電気機器(▲9.7)、輸送用機器(▲8.4)、精密機器(▲2.4)の3業種が低下している。

・前回「減少」の回答が多かった4業種のうち、鉄鋼・非鉄が▲19.2ポイント、一般機器が▲23.2ポイント、さらに「増加」の回答が増え改善が見られるのに対し、輸送用機器と精密機器ではそれぞれ「減少」が±0、▲4.2と微減に留まり、「増加」も増えておらず、依然として厳しい見通しとなっている。

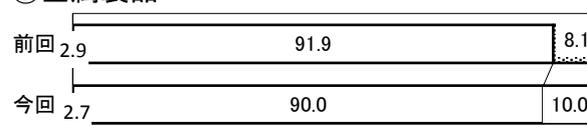
(3) 受注単価について



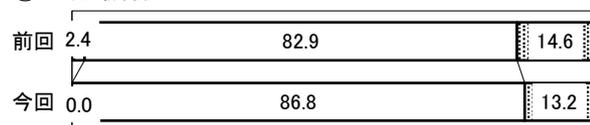
②鉄鋼・非鉄



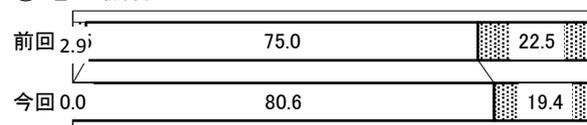
③金属製品



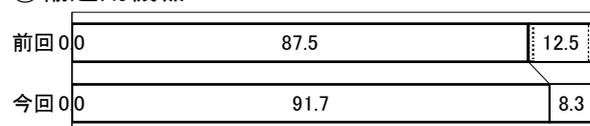
④一般機器



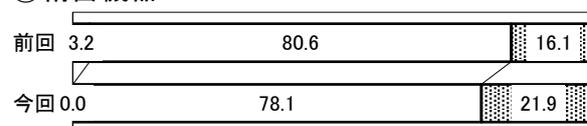
⑤電気機器



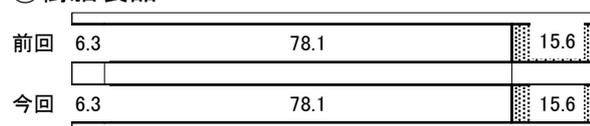
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



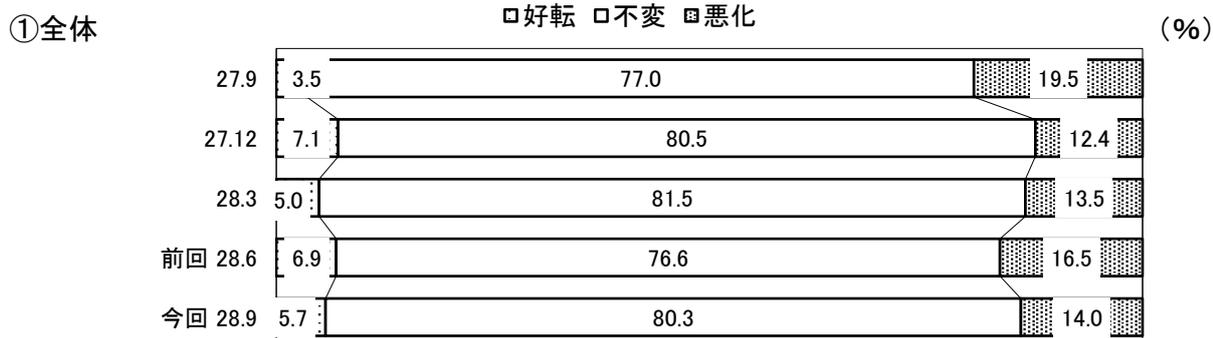
○全体

- ・7月～9月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲11.4となり、前期（4月～6月期）のD I ▲13.0と比べ1.6ポイント増加と、大きな変化は見られない。

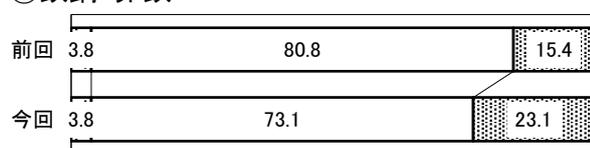
○業種別

- ・前回全ての業種でD Iがマイナスとなったが、今回は、唯一鉄鋼・非鉄で3.9と僅かながらプラスとなった。
- ・D Iを前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（19.3）、電気機器（0.6）、輸送用機器（4.2）の3業種が上昇し、金属製品（▲1.9）、一般機器（▲1.0）、精密機器（▲9.0）の3業種で低下。樹脂製品は±0であった。
- ・一般機器、電気機器、輸送用機器、精密機器では、「上昇」の回答は0であった。

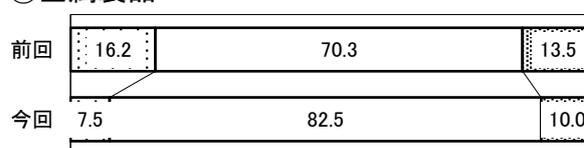
(4) 資金繰りについて



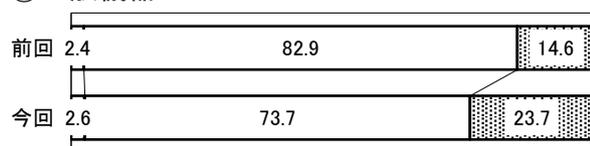
②鉄鋼・非鉄



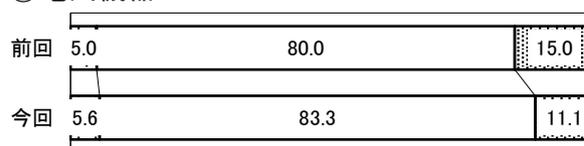
③金属製品



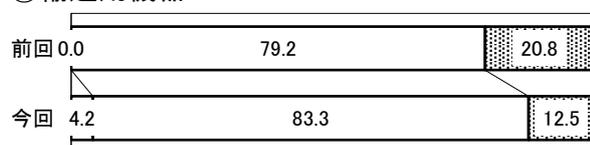
④一般機器



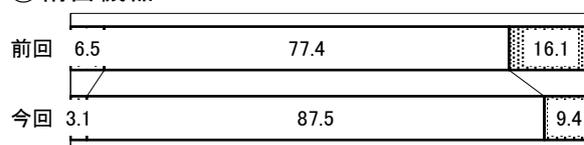
⑤電気機器



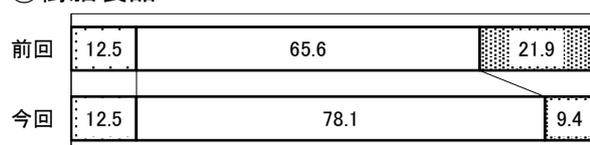
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

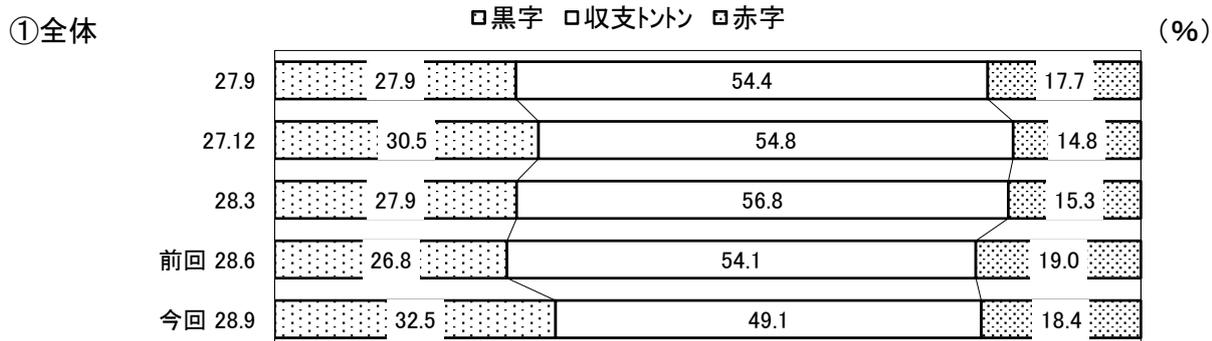
・7月～9月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.3となり、前期（4月～6月期）のD I ▲9.6と比べ1.3ポイントと僅かに上昇した。

○業種別

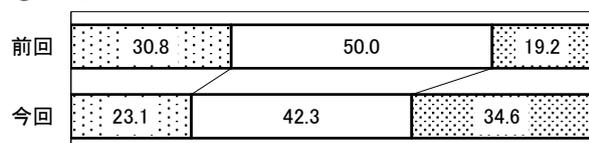
・業種7分類中D Iがプラスであったのは、樹脂製品（3.1）のみで、鉄鋼・非鉄（▲19.3）、金属製品（▲2.5）、一般機器（▲21.1）、電気機器（▲5.5）、輸送用機器（▲8.3）、精密機器（▲6.3）の6業種でマイナスとなっている。

・D Iを前期と比較すると、電気機器（4.5）、輸送用機器（12.5）、精密機器（3.3）、樹脂製品（12.5）の4業種で上昇しており、鉄鋼・非鉄（▲7.7）、金属製品（▲5.2）、一般機器（▲8.9）の3業種が低下してしている。

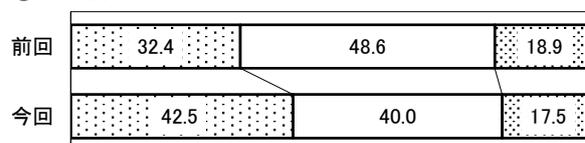
(5) 採算状況について



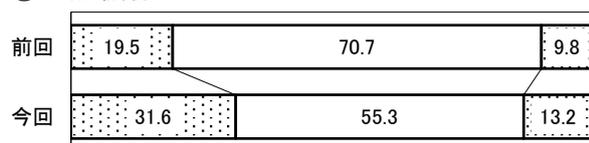
②鉄鋼・非鉄



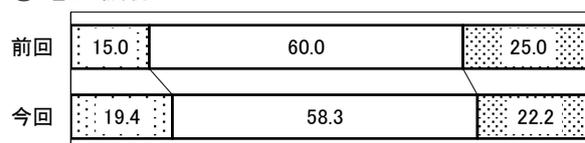
③金属製品



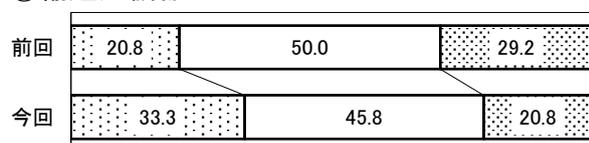
④一般機器



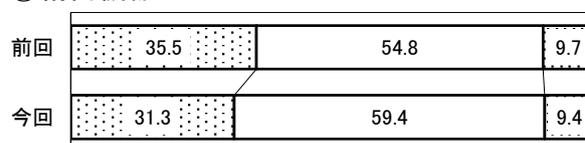
⑤電気機器



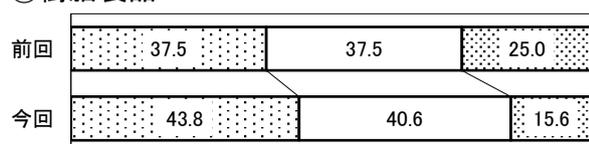
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

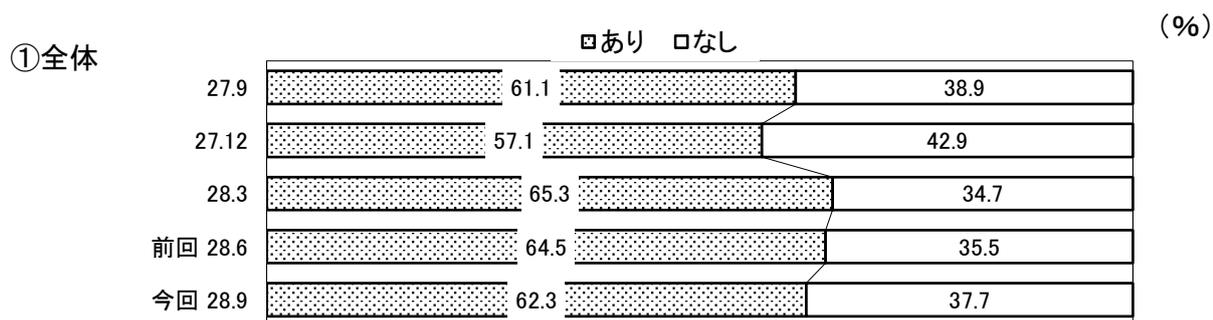
・7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は14.1となり、前期（4月～6月期）のD I 7.8と比べ6.3ポイント上昇した。

○業種別

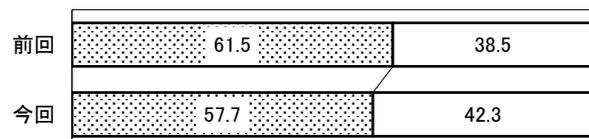
・業種7分類中D Iがプラスであったのは、金属製品（25.0）、一般機器（18.4）、輸送用機器（12.5）、精密機器（21.9）、樹脂製品（28.2）の5業種で、鉄鋼・非鉄（▲11.5）、電気機器（▲2.8）の2業種でマイナスとなった。

・D Iを前期と比較すると、金属製品（11.5）、一般機器（8.7）、電気機器（7.2）、輸送用機器（20.9）、精密機器（15.7）の5業種で上昇。特に、輸送用機器で大きく上昇が見られる。鉄鋼・非鉄（▲23.1）、精密機器（▲3.9）の2業種が低下している。

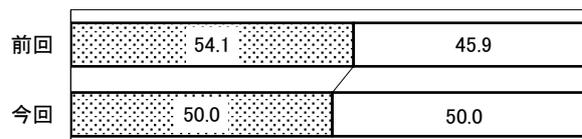
(6) 受注余力について



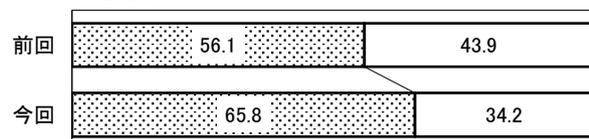
②鉄鋼・非鉄



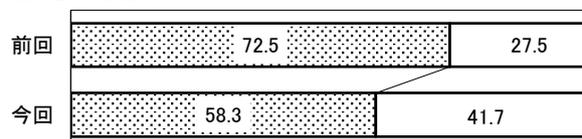
③金属製品



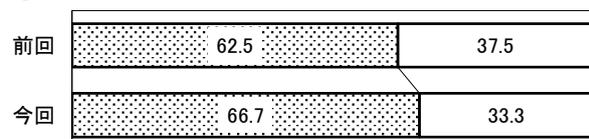
④一般機器



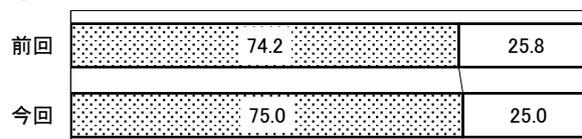
⑤電気機器



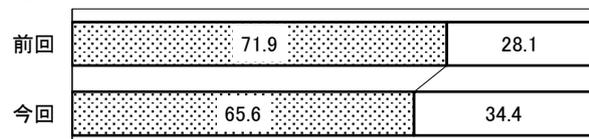
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期は「受注余力なし」とする企業が37.7%と、前期と比較して2.2ポイントと僅かながら増加した。

○業種別

・金属製品では「余力あり」「余力なし」が同数である以外、ほか6業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。
 ・前期と同様、金属製品が全業種の中で最も余力割合が少ない。(余力なし50.0%)
 ・前期と比較すると、あまり大きな変動はなく、一般機器9.7ポイント増、輸送用機器4.2ポイント増、精密機器0.8ポイント増と3業種で「受注余力あり」とする割合が増加し、鉄鋼・非鉄3.8ポイント減、金属製品4.1ポイント減、電気機器14.2ポイント減、樹脂製品6.3ポイント減と4業種で「受注余力あり」とする割合が減少となっている。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 313-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp